

広報遠野からの お知らせ Info

各種コーナーで写真を募集しています！

★わがやのアイドル

ご家族の記念に、お子さまの写真を掲載してみませんか？



★私たち結婚しました！

一生の思い出になること間違いなし！



有料広告を募集中！

広報遠野は、市内全戸に配布しているため広報効果が期待できます！ 有料広告を掲載してみませんか？

Info. 問い合わせ先
★市経営企画部広報担当
(☎62-2111)
遠野市 広報 検索

広報遠野に 寄せられた声 ※一部を紹介します Voice

★ここがイネ！

写真が豊富で、デザインがかわいく見やすいです(10代)

総合カレンダーは、取り外して使うことができるので重宝しています(30代)

他県の友人が遊びに来た時は、必ず広報遠野を見せ、遠野の事を話題にしています(50代)

広報で、遠野がさまざまな事で頑張っていることを知りました(70代)

★改善してほしいこと

写真の顔が小さくて見づらい時があるので、できるだけ大きく掲載してほしい(40代)

遠野へ移住してきた私にとって、市のさまざまな情報が網羅されている広報は、手放せません(20代)

学びのいずみの各種講座に参加しています。趣味が広がるきっかけになりました(40代)

カラーで見やすく、特集がおもしろいです(60代)

以前の広報と比べ、チラシが広報に掲載され、一冊にまとめて便利です(80代)

字が小さくて見づらいページがあるので、できるだけ字を大きくしてほしい(60代)

紙面づくりに生かし、
遠野の元気を発信し続けます！

市民の皆さんとともに

広報遠野

アンケート結果

このページでは、昨年に行った紙面アンケートの結果や、広報遠野の制作現場などを紹介します。遠野の元気を発信するため、広報遠野はさらに進化し続けます。

ご協力ありがとうございました！



広報担当/伊藤(左)、菊池

アンケートについて

昨年、広報遠野では産業まつりでの「広報遠野PRコーナー」や「遠野の10大ニュース募集」の際にアンケート調査を行いました。約250人の市民の皆さまから、貴重な意見・感想が寄せられました。

10年ぶりに刷新した表紙への意見

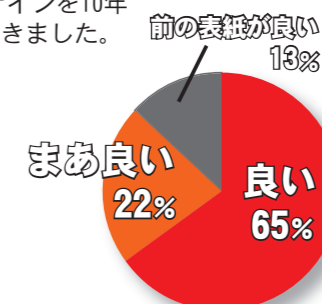
昨年10月号から、新・遠野市誕生10周年を記念し、表紙デザインを10年ぶりに刷新しました。約8割の皆さまから好評価をいただきました。



←産業まつりで広報遠野をPR！



平成27年10月号から表紙をリニューアル



約8割を超える好評価をいただきました！

アンケートを通じて、広報遠野がいかにか、多くの方から親しみを持って、読んでいただいているかが分かりました。アンケートの中では、「広報一冊あたりの情報量が充実している」とても役立つという「カラーで見やすい」など現在のスタイルを評価する意見が寄せられました。一方で「文字が小さすぎて見づらい」「写真を大きく掲載してほしい」など、改善すべき意見もいただきました。あらためて、広報遠野の今後の方向性を見直す良い機会となりました。

広報遠野は、昨年の広報コンクールで、県1位を獲得。今回、皆さまからいただいた貴重な意見を、これからの広報誌づくりを生かし、さらなる高みを目指してまいります。

広報遠野を通して、市民の皆さまの活躍やまちの元気を伝えたいので、ぜひ取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

平成27年度県市町村広報コンクール広報紙の部で1位 「広報遠野」が28年ぶりに全国へ！

同コンクール審査会(県広報協議会など主催)で、広報遠野3月号が広報紙の部(参加21点)で1位に入賞し、県代表として全国広報コンクールに出品されることになりました。また、7月号表紙写真が一枚写真の部(参加64点)で3位に入賞しました。

3月号では、遠野物語ファンタジーの40回記念公演を特集。密着取材し、表舞台に立つ人と裏方で支える人の頑張る姿を追いました。

写真の部3位の7月号表紙は、町民運動会の綱引きで「ケッパル」市民の表情を切り取りました。受賞は、市民の皆さまの日頃からの取材へのご理解、ご協力のおかげです。今後も「広報遠野」をよろしくお願いいたします。



1位を獲得した広報3月号(左)と3位に入賞した広報7月号

発行



毎月第1木曜日に、区長を通じて、全戸配布しています。この流れで広報遠野ができていきます。

校正



原稿に誤りがないかチェック作業を行い、市内の印刷業者に入稿。刷り上がりも確認します。

編集



編集専用ソフトを使用し、デザインから文章作成、写真加工まで全て広報担当職員が行います。

取材



現場に向き、取材。その場の雰囲気や写真撮影やインタビューには気合いが入ります。

企画



発行の約1カ月前に、広報戦略会議を開き、紙面構成や特集などのアイデアを出します。

「広報遠野」ができるまで
広報遠野は、100%広報担当職員の手作りです。広報遠野の制作現場を紹介します。